

第一商事磐田中央町SSが全面改装 街のランドマーク・オアシスを目指す



清水聖也代表取締役社長（上）
淺倉草吾マネージャー

【磐田市=静岡】JXTGエネルギー・鉱与商事系列の第一商事（本社静岡県磐田市鳥之瀬・清水聖也社長）がこのほど、旗艦店の磐田中央町SS（磐田市中央町・浅倉草谷マネージャー）を全面改修オープンした。収益源の柱として、オーバーコーティングショップの併設・複合化に加えてプリスマグニティ

スコートを用意したピューター門型洗車機「TSURUGI」を導入。磐田中央町SSは、ガソリンがなくなったから必要に迫られて来店するという従来のガソリンスタンドの懶怠を払拭して顧客が行きたくなる「街のランドマーク」「街のオアシス」を目指している。全面改装の舞台裏に迫った。

か、どのようなSSSにすればいいのかという想いが磐田中央町SSSの全面改修プロジェクトの始まりだった。静岡県内でもガソリンボリューム的にはセルフSSSが主流になってはいるものの、お客様はフルを第一に洗車のプロショップ化も推し進めた』。

同名の清水を名にした日中央町SSのコンセプトについて、セルフSSが全盛時代のなかでの全面改修にもかかわらず、あえて強い意表でフルサービスでの運営を決断した。「磐田中央町SSは36年という長きにわたってお客様に愛され続けてきました。今後も地域社会の発展に貢献していくためには何をしていけばいいのか

「ありがとう」と言われる店づくり

で地域社会への恩返し。
清水社長は磐田中

強い意志・覚悟で
フル決断

顧客はガラス張りの店内からコーヒーイングの施工風景を眺めることができる。徒歩で来店したいくらいだ。磐田中央町SSを指揮している浅倉豊吉マネージャーは「フルの心地良さをお客さまに提供する場として、またギーバーコーヒーというプロジェクトとして、これまで環境を整えてもらつた。恵まれた環境を生かし、サービスと技術のさらなる向上に努めている」と思つてゐる。全面改裝を二つの項目として、出

第一商事は昭和24年に創立された会社であり続いている。無限のエネルギー、力がどうある限り、それを掲げる。顧客からの「ありがとうございます」との言葉が磐田中央町SSの大きな原動力となつてゐる。

町央SSの全面改装に当たって静岡県内だけでなく全国のSSを見学、検証を重ねながら第一商事らしさを追求していった。エヌオスブランドを掲げているところも、第一商事の新たな時代に向けたブランドティング（企業価値の向上）にも力を入れたという。「お客様が喜んでくれる」という第一商事が語っていたように、このSSは、これまでのエヌオスブランドを知ついても、第一商事が器用に運営していくのを知らない人も少なくない。種類を言えば既存の給油所のかたちをしていないモニュメントを交差点に面した店舗舎に設置

